十市・稲生保育園統合高台移転
整備事業説明会

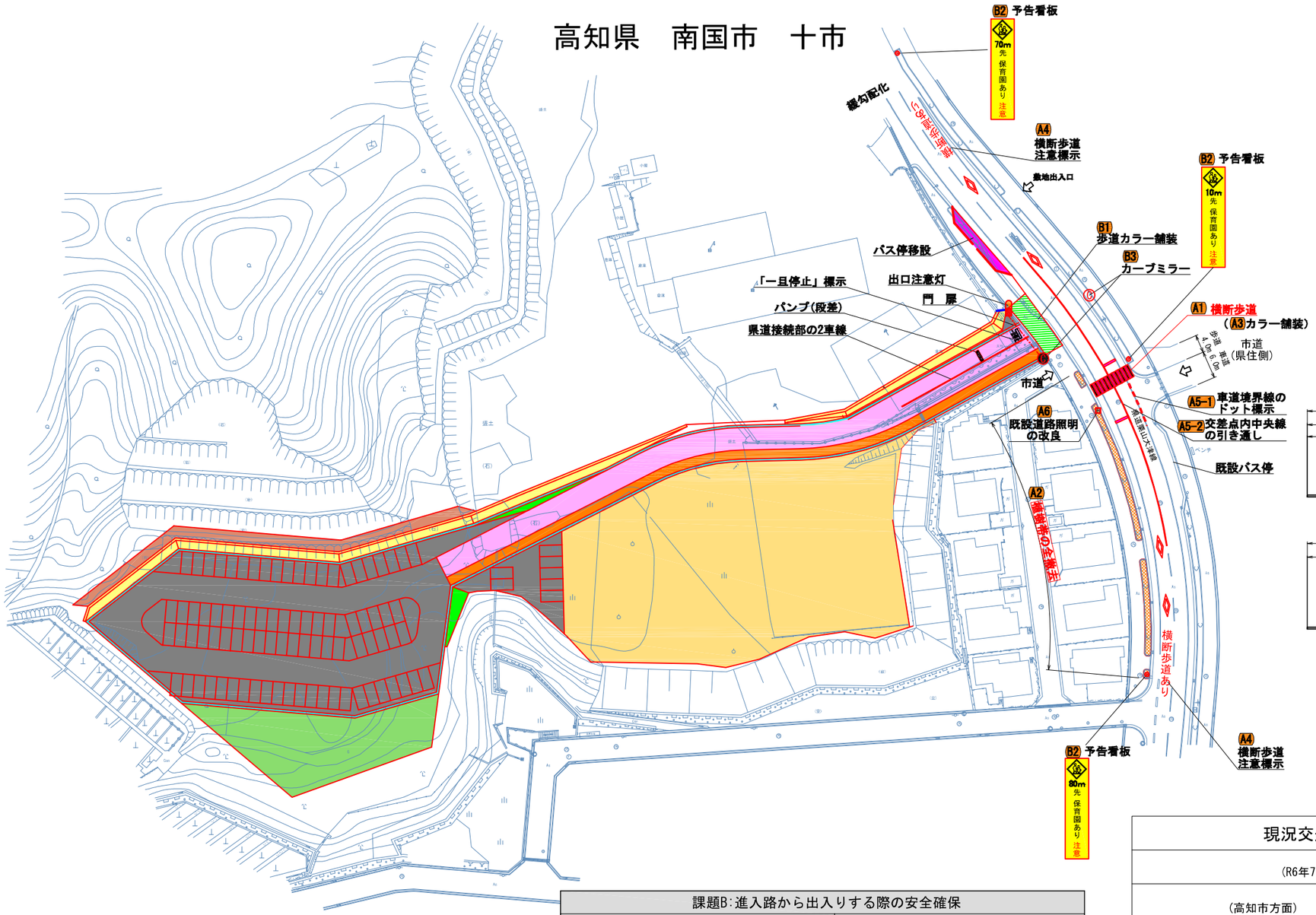
本日の説明会は、事業の進捗状況のご説明をさせていただくために開催するものです。

R6.10.4

R6.10.5

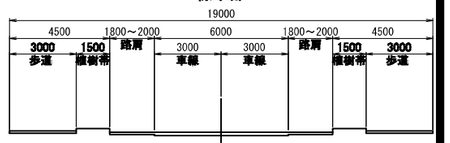
南国市

高知県　南国市　十市

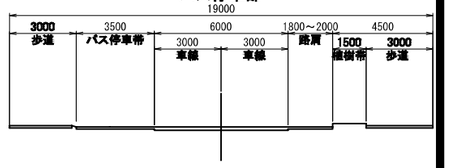


一般県道 栗山大津線		
設計速度	―	
制限速度	40km/h	
平日24時間交通量	4,413台	R3道路交通センサス
朝方ピーク時交通量 (7時台)	429台	R3道路交通センサス
車線の幅員	3.0m	
路肩の幅員	1.8～2.0m	
道路規格	第3種3級に相当	

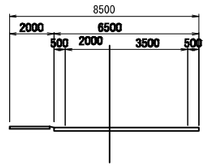
標準部



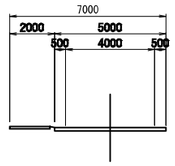
バス停車部



県道接続部

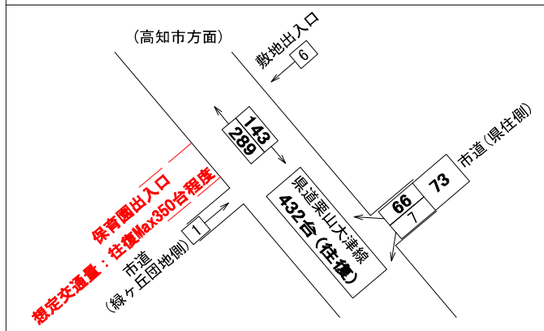


標準部



現況交通量（自動車類）

朝方ピーク時
(R6年7月3日(水)_7：30～8：30)



保育園進入路の想定交通量は、Max往復350台程度が朝方に集中すると想定される。
（保育園入所者は、十市保育園：120名、稲生保育園：50名　の計170名、加えて保育士）

保育園高台移転に伴う進入路付近の安全対策（案）

課題A:県住側から県道を東西に横断する児童の安全確保

		安全対策（案）	対策留意点等
県道敷での対策	A1	横断歩道の設置	この位置は見通しの悪いカーブの頂点であり、基本的には横断歩道の設置を避ける場所であるため、横断歩道の安全確保が出来ないと設置出来ない。 ⇒横断歩道設置にはA2～A6の安全対策が必要
	A2	植樹帯の全撤去	植樹帯の全撤去は、横断歩道設置の必須条件
	A3	横断歩道のカラー舗装	
	A4	「横断歩道あり」等の路面への注意標示	
	A5-1	車道境界線のドット標示	交差点部優先道路(県道)の明確化
	A5-2	交差点内の中央線引き通し	同上
	A6	既設道路照明の改良	横断歩道を照らす照明に改良

課題B:進入路から出入りする際の安全確保

		安全対策（案）	対策留意点等
県道敷での対策	A2	植樹帯の全撤去	進入路からの見通し確保
	B1	県道接続部の歩道のカラー舗装	
	B2	「保育園あり」の予告看板	カーブに入る手前から予告
	B3	カーブミラー（２面鏡）	進入路で停止した車から県道を通行する車を視認できるようにする
進入路敷での対策	B3	カーブミラー	進入路で停止した車から県道の歩道を下ってくる自転車を視認できるようにする
	―	門　扉	門扉設置により敷地内道路であること明らかにし、平行する市道が優先であることを明確化する
	―	出入口注意灯	進入路を下ってくる車と自転車を感知し、県道の歩道を通行する自転車等に注意喚起
	―	県道接続部の２車線化	県道接続部付近における安全な車の行き違いと円滑な通行の確保
	―	縦断の緩勾配化	減速対策
	―	「一旦停止」等の標示	減速対策
	―	ハンプ（段差）	減速対策

現況図（協議箇所）

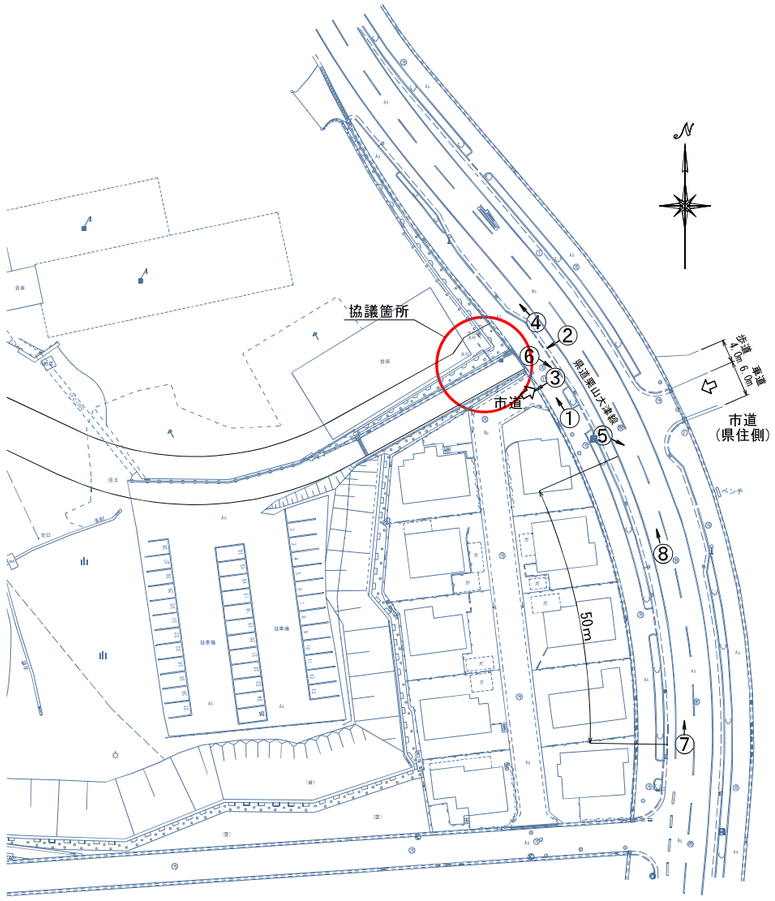
S=1:500
※縮尺は原寸(A1)での値を示す。
A3の場合はS=1:1,000となる。

県道歩道　幅員３m

現況敷地内道路　幅員４m

緑団地側　市道　幅員５m（側溝込）

バス停　県住前第二（とさでん交通）



進入路からの県道の見通し
県道の曲線区間で植樹帯があり、見通しが悪い

植樹帯撤去後のイメージ

県道からの市道交差点付近の見通し
曲線部で植樹帯があり、西側の歩道状況が把握しづらい

植樹帯撤去後のイメージ

県住側の市道との交差点部への横断歩道設置は、
保育園への通園児童の安全確保が目的であるが、
県道を横断するバス利用者の安全確保にも寄与する。

県住側のバス停利用状況：朝方7:00～9:00までの乗車客は10人

県道から進入路付近の見通し
植樹帯により進入路の存在が把握しづらい

植樹帯撤去後のイメージ